



市民に親しまれる鶴川図書館

行政主導の「図書館サービスクラウド」は市民参加で見直しを

教育委員会が2月に策定した「効果的効果的な図書館サービスのアクションプラン」は、鶴川図書館を22年度に廃止し、鶴川駅前図書館をはじめ6館

20年度一般会計予算は、総額1661億円(対前年比4%増)で過去最高になりました。特徴は、大型公共事業や公共施設再編推進、市民生活密着事業削減の予算になっていることです。日本共産党は、一般会計予算に討論をして反対しました。

開発優先、福祉切り捨てやめ 市民の命、暮らしを守る市政を!

日本共産党
一般会計予算
に反対

町田市は、芹ヶ谷公園内につくる(仮称)国際工芸美術館の完成(24年秋)とともに本町田弥生が丘の市立博物館を解体することを明らかにしました。博物館の存続を求める請願が採択されていることに反します。近代建築家の一人、山口文象氏の設計による現博物館は、文化的にも歴史的にも価値ある遺産であり、保存すべきです。

文化・歴史的価値ある市立博物館は存続を

民間の指定管理を導入する計画です。これに対し市民から、「アクションプランの見直しを求める請願」が出され、継続審査となりました。鶴川図書館の存続を願う市民の声、請願を採択した議会、「プラン」の問題点を指摘した図書館協議会の意見にも反する教育委員会の「プラン」は撤回し、市民参加で作直すべきです。



新型コロナウイルス感染症で市民生活が厳しさを増している時、町田市は、「生活資金貸付金」の予算を30万円(1世帯10万円以内)とし、前年の半分に削減しました。また、障がい者の施設借上げ費補助金についても、前年比で300万円(9.5%)削減。2017年度には75%だった家賃補助率を年10%下げ、今年度は45%に切り下げました。これでは障がい者施設の運営ができませんと悲鳴が上がっています。暮らしを守る市政に変えましょう。

市民の暮らし、福祉削減はやめよ!



山口文象氏設計の町田市立博物館

国保税の連続値上げノー!

町田市は、今年度も国民健康保険税の税率改定を行い、実質5年連続値上げ(一人当たり760円)を強行しました。市民から出された「国保税の連続値上げを行わないことを求める請願」は、共産党以外の反対で不採択になりましたが、均等割の値上げにより多子世帯の保険税は所得の10%を超え、負担は限界に達しています。党市議団は、市民の厳しい生活実態に寄り添った「払える保険税額」にすべきと連続値上げに反対しました。また70歳以上の後期高齢者医療保険も、国が低所得者の軽減特例を見直した影響で、低所得者は大幅な負担が強られることに。収納率を上げるための徴収強化など、住民の福祉増進に寄与する地方自治体の役割から逸脱しています。



奨学金(8,700円/月)バツサリ廃止!

今議会では、経済的困難のある高校・高等専門学校生に月8,700円を返済不要の学資金として支給してきた「町田市奨学資金支給条例」の廃止が、共産党他1名以外の賛成で可決しました。国や都の支援が充実し「所期の目的を達成した」が理由ですが、この事業予算は年間約1,600万円。大型公共事業には莫大な税金を投じながら、ささやかな「学びの支援」をバツサリ切り捨てる行革は許されません。



殿村健一市議 細野りゆう子市議 佐々木とも子市議 田中美穂市議

私たちも相談をお受けします
724-4030 日本共産党会派室

無料法律相談

お気軽に

5月13日(水)・27日(水)
6月10日(水)・24日(水)

毎月第2、第4水曜日
午後2時~5時
町田市役所3階
共産党会派室

要予約 ☎042-723-6312まで

事前に予約してください
※会場が変更になることがあります。